

新型コロナウイルス対策についての緊急要望

新型コロナウイルスの感染拡大について、区民に不安が広がっています。

日本共産党渋谷区議団にも、「マスクの備蓄が残り少なく、このままでは診療を継続できなくなる」、「福祉施設で働いているが、学校が休みでも仕事は休めない。子どもをひとりで留守番させていて心配」、「放課後クラブは、子どもが多く、接触が濃密で感染リスクが高いので不安です」、「フリーランスで働いているが、休業補償がなければ休むことはできない」、「飲食店だが、客が激減して、このままだと廃業しかない」などの切実な声が寄せられています。

こうした区民からの様々な不安や要望に応じて、区としての新型コロナウイルス対策を抜本的に強化するよう下記の事項について緊急に要望いたします。

記

- マスクが不足している医療機関については、災害備蓄用マスクを支給すること。また、高齢者施設、介護施設、介護事業所、民間保育施設、障がい者施設の実態を調査して、必要なマスクを支給すること。
- 小学校の休業中の放課後クラブについては、①指導員の体制強化のための委託費の増額を行うこと。②濃厚接触を避けるため、利用人数の多い放課後クラブについては、普通教室の利用、教職員の支援を可能にすること。特に、給食が実施されれば、教室や指導員の不足が予想されます。また、特別支援教室の子どもたちには、担任の教師の支援が必要です。
- 小中学校の給食食材等の納入業者に対して、損失を補填する措置をとること。
- 中小業者に対する相談窓口を早急に設置するとともに、新型コロナウイルス感染拡大により売り上げが減少している中小企業向けに、無利子、無担保、無保証人の緊急融資を実施すること。
- 新型コロナウイルス感染拡大にともない、休業を余儀なくされているフリーランス、個人事業主に対して、雇用調整助成金の特例と同様の補償を、国、都と連携して実施すること。

以上

2020年3月6日

日本共産党渋谷区議団